

児島地区のまちづくりについて

資料 1

1. 児島地区におけるこれまでのまちづくり(主要な事業)



2. 児島地区市街地のまちづくりの課題

倉敷市都市計画マスタープラン・倉敷市立地適正化計画や、児島地区の人口・産業、児島地区市街地の土地利用の状況などを踏まえて、下記のとおり児島地区市街地のまちづくりについて課題を整理しました。

- 課題① 都市機能の強化による児島駅直近の魅力向上
- 課題② 児島地区市街地の回遊性向上によるにぎわい創出
- 課題③ 産学官の連携によるせんいのまち児島の活力向上
- 課題④ 老朽化した公共施設の再編・複合化

3. 児島地区における公共施設の複合化

- 本市では、平成28年6月に「倉敷市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後の人口、財政の見込みを踏まえ、公共施設の現状と課題を明らかにし、全体的な方針を定めました。
- この総合管理計画に基づき、市内171の公共施設について、維持、建替え、集約化、複合化、廃止など、建物の建築年数、機能、劣化状況等を勘案して検討を行い、令和4年3月に基本的な対応方針を分類した、「倉敷市公共施設個別計画」を策定しました。
- これを受けて、「倉敷市立短期大学」「児島文化センター（ホール機能）」「児島児童館」「児島憩の家」「倉敷ファッションセンター」「倉敷勤労者体育センター（体育館機能）」については、児島地区市街地で複合化を検討することとしました。

4. 複合施設の整備場所

- 複合施設の整備候補地として、児島公園(A)、海技大学校跡地(B)、児島文化センター跡地(C)について、まちづくりの課題の観点から比較評価しました。
- その結果、児島駅直近における都市機能の強化が図りやすく、地域資源をつなぎ、にぎわい創出に大きく寄与するとともに、産学官の連携を推進する場所としても最も適している児島公園(A)の一部を活用し、複合施設を整備したいと考えています。

